

外来生物と生態系について調べる



皆さんは「外来生物」と聞いてどのような生き物を思い浮かべるでしょうか。ヒアリ、セアカゴケグモ等、その被害が報道される怖い生物でしょうか。しかし、アメリカザリガニ、食用ガエル、クサガメ等、身近な生物もまた外来生物です。外来生物とは、本来の生息場所ではない地域に持ちこまれた動植物のことを言います。知らぬ間に生活に入り込んでいる外来生物と、私たちはどのように付き合っていたらよいのでしょうか。生態系という大きな枠組み、生物多様性という考え方から、外来生物を見つめ直し、外来生物との付き合い方について考えてみましょう。



外来生物の種類を調べる

○『外来どうぶつミニ図鑑』 全国農村教育協会 2012【481.7ス】

特定外来生物、要注意外来生物等を中心に、身近な外来動物 59 種を豊富な生態写真や環境写真で紹介しています。日本への来歴と日本国内での分布、形態と生態、環境や農業への影響などを掲載しています。

○『日本の外来生物』 平凡社 2008【481ニ】

外来生物法施行にともない、広く認識されるようになった日本の外来生物のすべてをカラー写真で紹介・解説した図鑑です。

○『外来生物事典』 東京書籍 2006【481.7ガ】

環境省指定の「特定外来生物」(外来生物法対象)と「要注意外来生物」230 種をすべて収録した事典です。

○『外来生物のひみつ』 PHP 研究所 2018【児468ガ】

外来生物とは、本来の生息場所ではない地域に持ちこまれた動物・植物のことを言います。外来生物が日本や他の地域にやってきた理由、人間に対する害を豊富な写真とともに紹介しています。

○『外来生物ずかん』 ほるぷ出版 2016【児 486 ガ】

子どもに身近な種を中心に代表的な外来生物 90 種と関連する生き物、合わせて 120 種以上をさまざまな問題点とともに紹介しています。豊富な写真とイラストで身近な環境問題について楽しく学べる図鑑です。

○『外国から来た魚』 フレーベル館 2010【児 487 マ】

日本で急速に分布を広げているオオクチバスを中心に、大量の外国の魚に占領されている日本の川や湖の水中の様子を、水中カメラまんが写真とともに紹介しています。

外来生物が生態系に与える影響を調べる

○『外来アリのはなし』 朝倉書店 2020【486.7 ガ】

外来アリについて正しく知り、正しく対処できるように、最新の知識を取りまとめた 1 冊です。アリの習性生態についても詳しく解説し、アリの防除についてもその特性を踏まえた方法を具体的に紹介しています。

○『外来生物が日本を襲う!』 青春出版社 2007【481.7 ガ】

生態系破壊、在来種絶滅、農作物被害、病気媒介…。知らないではすまされない忍び寄る脅威。アライグマ、カミツキガメ、外来カブトムシ等、日本に定着した外来生物とその被害の実態を紹介しています。

○『危険生物◆外来生物大図鑑』 あかね書房 2017【児 480 キ】

特別な場所だけではなく、生活圏内で出あうこともある危険生物たち。外来種のヒアリやカミツキガメ等、人体・農作物・生態系それぞれに注意が必要な生物の情報を写真とともに紹介しています。

生物の絶滅について調べる

○『滅びゆく動物たち』 青春出版社 2002【480.7 カ】

自然の変化や人間の手による環境破壊で、絶滅の危機に瀕している動物たちの生態を追い続けたカメラマンによる迫真のメッセージ。絶滅させられた動物のリストを示し、動物たちをいかに救うかを問いかけます。

○『絶滅野生動物の事典』 東京堂出版 1995【480.7イ】

モア、ドードー、ニホンオオカミ、リョコウバト等、近代のおびただしい生物種の絶滅の75%は人間が原因です。1600年以降に消え去った主なほ乳類と鳥類について詳しく記録した著書であり、コラムも充実しています。

○『絶滅危惧種救出裁判ファイル』 実業之日本社 2015【見480オ】

絶滅の危機に瀕している動物たちを原告、人間を被告にした裁判形式で、絶滅危惧種の生態、原因、現状をわかりやすく解説した空想科学図鑑です。知識を広げるコラムやマンガ「動物からの訴え」も掲載しています。

生物多様性・生態系について調べる

○『知っておきたい日本の絶滅危惧植物図鑑』 創元社 2020【472.1ナ】

主な絶滅危惧植物100種以上を紹介しています。代表的な種の写真や解説の他、危険度ランクやレッドリスト、生物多様性等、私たちが知っておくべき基本的な知識や保全活動の現状等をまとめています。和名索引も付いています。

○『人間自身がすでにひとつの「生態系」』 自由国民社 2012【468イ】

体の中の「生態系」に見るふれあいと営み。分離、合体、強制、超個体等、生き物たちの生き残りをかけた究極の知恵とワザを写真や図を用いて紹介し、生物の本質をやさしく説明しています。

○『さぐろう生物多様性』 PHP 研究所 2020【見468オ】

日本の身近な場所から、メダカ、カエル、チョウ等ごく普通の生き物が姿を消していく原因を探り、生物多様性に富む日本の自然や、生物多様性の意味とめぐみ、生物多様性を取り戻す活動等を紹介しています。

○『生物多様性の大研究』 PHP 研究所 2011【見468セ】

食物連鎖とは何か？ 生物多様性による「めぐみ」にはどんなものがあるのか？ 生物多様性条約とは？ すべての生き物にとって必要な生物多様性について解説しています。

外来生物との付き合い方を考える

○『なぜわれわれは外来生物を受け入れる必要があるのか』 原書房 2018【468ト】

私たちは進化的変化の加速と新しい種類の生命の発声を目の当たりにしています。英国の生態学者・進化生物学者である著者が「生物多様性の真の姿」を解説し、外来生物の排除に生態学の立場から異を唱えています。

○『終わりなき侵略者との闘い』 小学館クリエイティブ 2017【468ゴ】

セアカゴケグモ、ヒアリ、グリーンアノール、マングース…。日本に定着した外来生物と、その防除と駆除の最前線を探っています。

○『カミツキガメはわるいやつ?』 フレーベル館 2015【児487マ】

千葉県にある印旛沼とその周辺の水辺には、外来生物・カミツキガメがすみついています。テレビなどでは「悪者」のように取り上げられるカミツキガメの本当の姿を通して、人と自然の問題を考えています。

インターネットで調べる

◆『外来生物法 日本の外来種対策 外来生物法 環境省』

<https://www.env.go.jp/nature/intro/llaw/index.html>

◆『第1章 外来生物とは何か? 農林水産省』

https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/manyuaru/old_manual/manual_tokutei_gairai_old/data1.pdf

◆『外来生物について 東京都環境局「気をつけて! 危険な外来生物」』

<https://gairaisyu.metro.tokyo.lg.jp/>

◆『レッドリスト・レッドデータブック 環境省』

<https://www.env.go.jp/nature/kisho/hozen/redlist/>

◆『生物多様性 環境省』

<https://www.env.go.jp/seisaku/list/biodic.html>

◆『外来生物対策 千葉県』

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shizen/seibutsu/gairaishu/>

◆『五箇さんに聞く! 「外来種」は悪者?』 国立環境研究所』

<https://taiwa.nies.go.jp/colum/gairaisyu.html>